

さいたま市教組新聞

さいたま市
教職員組合
(埼教組)
TEL 641-6763
FAX 648-3567
e-mail
saitama@
kyouiku-net.org
2006.10.30(月)
No.109

教職員公募制度は問題だらけ

年度当初人事で交渉実施～「意向の把握に努める」

さいたま市教組は10月20日(金)23日(月)の両日、人事に関する団体交渉を行いました。概要を掲載します。

第二次打診は ブロック名で

重点要求 打診を
学校名かブロック名
で行うこと。

市教委は「学校名
やブロック名で打診
を行う考えはない」と
昨年同様の回答を
しましたが、組合か
ら、昨年、ほとんど
の学校でブロック名
での打診が行われた
こと、多くの教職員
に好評であったこと
を主張し、昨年と同
様に進めるかを確認
しました。市教委は
「昨年と同じように、
一月下旬の第一次打
診は希望通り進んで
いるか否かを伝える。
二月下旬の第二次打
診でブロック名を伝
える」と回答しまし
た。

退職前最後の 異動には配慮

重点要求 退職前の
最後の異動にあつて
は、特に本人の意向を
尊重すること。

市教委回答は「人事
方針・細部事項に基づ
き進める」でしたが、
やり取りの中で、「ヒ
アリングで校長に十分
に本人の希望を伝えて
欲しい。考えている
(配慮する)」と回答
しました。基本は方針・
細部事項であり、一〇
〇％本人の意向通りに
進むわけではありません
が、市教委は十分に
配慮するものと考えま
す。校長とのヒアリン
グでの具体的な希望表
明が重要となります。

学校運営上・残年 数一年の配慮する

重点要求 「七年で
の異動」で定年までの
残年数が三年となった
者で、異動希望なしの
人への配慮すること。

市教委回答は「方針・
細部事項に基づき進め
る」でしたが、弱視学
級に在籍する児童の指
導の継続性、残年数一
年で退職の人への配慮
等、具体的な事例を挙
げ追求しました。市教
委は「学校運営上、ま
た子どもとの関係、残
年数等については配慮
する。機械的に行わ
ない」と回答しました。

調書記入上 の確認事項

調書記入上の点で、
市教委は「転任・転補
で異動希望地(区)は
三つ記入する」と回答
しましたが、転任では
「三つ書いた内の三つ
目が異動できない市町
村であることを特記事
項欄に記入すれば、該
当の市町村への異動は
ない」ことを確認しま
した。「転補の場合は
希望地(市町村)を記

現任区の扱い 公正にせよ

入する必要はない」と
と、「異動できない区
を特記事項欄に書いて
ある場合、特記事項は
見る」と述べました。
「意向は把握する」と
しており意向を強く校
長に伝える事が重要で
す。また、上から第一
希望という風に一般的
には受け止めること、
特記事項欄には「異動
できない学校や区」等、
具体的に記入して良い
ことを確認しました。

主任想定 人事はしない

則」に反します。人事
方針の「教職員組織の
均衡化」「全市的な視
野から異動を推進」と
する人事交流とも矛盾
します。「公募制と通
常の異動での異動区の
扱いは平等にすること」、
現任区からの異動は
「公募制度で異動した」
ことが明白で、職場に
不協和音を作ると指摘
しました。市教委は現
任区異動は行わないと
の明言は避けましたが、
「運用には配慮する」
と述べました。

人材は恣意的に 出すものでない

を掲げた公募制度の趣
旨からも逸脱します。
市教委は問題があるこ
とを認めました。「主
任が想定される人事は
行わない」ことを再確
認しました。

公募制度について、
市教委は「公募制度は
実施する」と回答した
ため、具体的な要求を
しました。

要求 人事異動を希
望するものは全員、現
任区を含め自由に希望
できるよりにすること。
市教委は、「人事方
針・細部事項に基づい
て進める」と回答し、
公募制度では区は自由
であるとししました。一
番の問題は人事に不平
等・差別が持ち込まれ
ることです。地公法第
一三条「平等取扱の原

要求 主任想定人事
は行わないこと。
実施校の「求める人
材」を見ると(ウラ面
参照)、教務主任、教
科等主任、学年主任、
研修主任等、主任オン
パレードです。人事要
求書に対する市教委の
回答「主任を想定した
人事は行わない」「主
任は(学校管理規則の)
趣旨に基づいて(各校
の校長が)充てている
ものと承知している」
と矛盾します。また
「特色ある学校づくり」

市教委は、「求める
人材」に学級担任、特
別支援学級担任等、従
来の校長の具申権で行
える事例、少人数指導
加配教員等、年度当初
の加配措置を要望する
事例等、公募制度の趣
旨からは離れた内容が
あることを認め、「求
める人材」等は年度当
初決めた学校教育目標・
経営方針に基づいたも
ので、校長が恣意的に
出すものではないこと
等、校長会で指導する
と共に、職場で再度説
明することを約束しま
した。
公募制度で希望を出
した者(本人)に、校
長所見を示すことは何
ら問題がないこと。本
人に見せるかは校長の
判断であることも併せ
て確認しました。

教職員公募制度実施校の「主な職務内容」一覧表

高砂小	高学年担任、教科等指導法研究の推進者	仲本小	研修副主任、図書館主任、高学年担任
本太小	総合主任又は理科・生活主任、研修推進者	浦和別所小	研修推進委員兼学級担任
岸町小	理科専科、理科教育研究推進、地域連携理科活動	原山小	研修推進者、理数大好き教育活動企画推進（学級担任）
針ヶ谷小	理科主任（理科専科）、緑化推進活動プロジェクト主任、栽培・環境委員会担当、PTA育成化連携担当	辻小	小・中・高・地域連携主任、研修や教科担任制でリーダー、英会話・英語活動でのリーダー
沼影小	潤いの時間主任、高学年担任	栄和小	研修主任補佐、国語研究リーダー
道祖土小	研究主任、高学年担任	芝原小	金管バンド指導者、学級担任、音楽と他教科の専科
大宮小	特別活動担当	大宮東小	研究推進委員
大宮南小	ことばの教室担当	三橋小	音楽主任、吹奏楽指導者
日進北小	国語科課題研究推進者、学級担任	宮原小	学校課題研究推進
大砂土小	環境教育（理科）主任	見沼小	教務主任、学校課題研究主任、学年主任
指扇小	生徒指導担当、担任	馬宮東小	研修主任、高学年担任
蓮沼小	授業研究部・国際交流部・環境整備部で自分の特性を発揮	宮前小	特別支援学級担任、特別支援教育充実と交流・共同学習推進
指扇北小	教科等主任、中高学年担任	泰平小	研究主任、各教科主任
与野本町小	特別支援教育推進者	上落合小	理科主任、理数大好きスクール事業実行委員
与野八幡小	特別活動（児童会中心）、情報教育、低学年担任	岩槻小	音楽主任（全校音楽活動、鼓笛隊技術指導、全校音楽集会）
太田小	体育主任・視聴覚主任・国際教育主任、高学年担任	川通小	生徒指導主任、情報教育主任、研修推進委員
和土小	研修主任、算数主任	東岩槻小	図書館主任
城北小	音楽主任	上里小	図書館主任、高学年担任、図書委員会担当
西原小	理科主任、少人数指導加配教員	新和小	研究主任
本太中	国語科、研修担当、担任（運動部顧問）	東浦和中	数学科または英語科、「生き方」指導・キャリア教育、学校図書館教育推進
大成中	教務主任、学年主任、運動部指導者	宮原中	教務主任、学年主任、社会科・音楽科、バレーボール部・吹奏楽指導者
大砂土中	体力向上推進主任、体力づくり推進役、学級担任	八幡中	学校運営の中核となる主任（教務主任）、情報教育主任
与野東中	吹奏楽部顧問、国語・理科・保健体育・英語・他の教科	市立養護	障害のある子の担任、自立活動担当、研究推進、特別支援教育コーディネーター



主任は、みんなの仕事を全部やってしまう人ですか。学校はみんなの共同で機能しています。一人ではミスが発見できませんし、ミスは起きやすくなります。教職員が集団として機能するなかで、互いの不足を補い合い、能力を高め合うのではないのでしょうか。校長さん、人を見る目と教職員を育てる腕を磨いていますか？人を信頼することから「教育」はスタートするのではないのでしょうか。